

調べ学習ブックリスト 米・稲について調べる本

(株)ヴィアックス 児童部会「調べ学習・レファレンス研究班」(2014年10月作成)
毎年、必ず子どもたちから問い合わせをうける「米」「稲」についての本。カウンターですぐに案内できるように、私たちはまずブックリストを作ることになりました。(請求記号、資料番号は省略しています。)

<米・稲 全般>

「米」で総合学習 1～4巻
～みんなで調べて育てて食べよう!～

池田 良一/監修
金の星社(2002/2007年)
30cm

お米のことが、色々な角度からわかる

- 1巻: イネを育てる
- 2巻: 図解 米なんでも情報ずかい
- 3巻: 米を食べる
- 4巻: 都道府県別米データ集

お米なんでも図鑑
～お米とごはんのすべてがわかる!～

石谷 孝佑/監修
ポプラ社(2013年)
27cm/159p

お米の種類や育て方はもちろん、料理法やお米を使った加工品についても、詳しく説明しています。イラストや写真が豊富です。

イネ・米
～地球を救う! 植物～



津幡 道夫/著
大日本図書(2013年)
27cm/47p

イネ・米がどのような植物なのか、どのようなパワーがあり、私たちとどのようなつながりを持っているのか、興味のあるところから調べられます。

<植物としての稲・栽培>

イネの一生



守矢 登/著
あかね書房(2005年)
23cm/52p

イネがたねから成長する様子を、たくさんの拡大写真を使って説明している本です。

写真でわかる

ぼくらのイネづくり 1～5巻
農文協/編
農山漁村文化協会(2001～02年)
27cm

- 1巻: プランターで苗づくり
- 2巻: 田植えと育ち
- 3巻: 稔みのりと穫とり入れ
- 4巻: 料理とワラ加工
- 5巻: 学校田んぼのおもしろ授業

田んぼの一年



向田 智也/作
小学館(2013年)
19cm/40p

一月から始まる田んぼの一年を、ひと月ごとに描いた絵本です。田んぼで見られる生き物や、米づくりの作業や使う道具がわかります。

<歴史>

調べ学習 日本の歴史
9巻「米の研究」

ポプラ社(2001年)
29cm/47p

弥生時代の稲作の様子を中心に、現代までの米づくりのうつりかわりを解説します。

NHK日本人はるかな旅

4巻「イネ、知られざる1万年の旅」
笠原 秀/構成・文 馬場 悠男・小田 静夫/監修
NHKスペシャル「日本人」プロジェクト/編集
あかね書房(2003年)
31cm/39p

たいこ
太古の日本列島には存在しなかったイネが、いつ、どのようにして伝わり広がっていったのか探ります。

<産業・流通>

くわしい! わかる!

図解 日本の産業 1巻「米」

保岡 孝之/監修
学習研究社(2006年)
29cm/48p

米が食卓に届くまでの方法や、農業技術の研究、また現代の米事情について調べられる本です。

<食物・食文化>

お米のひみつ

～たのしい料理と実験～

小竹 千香子/著

さ・え・ら書房 (1992年)

23cm/63p

米がごはんになる様子や、米のもつ栄養素についてなど、お米の持つ色々な性質を、料理と実験から調べます。



発見！ 体験！ 日本の食事

6巻「もち」

次山 信男/監修

ポプラ社 (2002年)

29cm/45p

もちは、日本伝来の行事や地域に根づいた文化と、大変深い関わりがあります。

米と人々の生活について調べるのに役立つ本です。



ほかにも、こんな本があります。

ポプラディア情報館「米」 石谷 孝祐 /監修 ポプラ社 (2006年)

調べるっておもしろい！「お米はなぜ食べあきないの？」

山口 進 /著 アリス館 (1999年)

そだててあそぼう 6 「イネの絵本」

やまもと たかかず /へん・もとくにこ /え 農山漁村文化協会 (1998年)

そだててあそぼう 91 「赤米・黒米の絵本」

いたに とみお /へん・スギカワ ユウコ /え 農山漁村文化協会 (2010年)

農家になろう 3 「イネとともに」 水田農家・佐藤次幸

農文協 /編・倉持 正実 /写真 農山漁村文化協会 (2012年)

自然と人間「お米は生きている」 富山和子 /著 講談社 (1995年)

日本の農業 2 「米をそだてる」 荒木均・渡辺好昭 /監修 岩崎書店 (2010年)

「米をつくる 米でつくる」 西沢江美子 /著 岩波ジュニア新書 (2005年)

「たなだ棚田を歩けば」 青柳健二 /著・写真 福音館書店 (2007年)

「お米なんでも大百科」 1～5巻 保岡 孝之 /監修 ポプラ社 (2002年)



ブックリストだけでは、調べる学習で使えるインターネット情報などを伝えられないことなどからこのリストを作成したあと、パスファインダーを作成することにしました。